

会場アクセス



JPタワー ホール&カンファレンス 東京都千代田区丸の内2-7-2 KITTE4階 TEL.03-5222-1800

JR東京駅 丸の内南口 ……徒歩約1分
丸の内線東京駅 ……地下道より直結
千代田線二重橋前<丸の内>駅 ……徒歩約2分

三田線大手町駅 ……徒歩約4分
JR京葉線東京駅 ……徒歩約3分

■注意事項

- 発熱、頭痛、せき等の症状が見られる場合は、出席をご遠慮ください。
- 当日受付で検温及び体調の確認を行います。37.5℃以上の方や体調不良が認められる方は、入場をお断りさせていただくことがあります。
- 場内では必ずマスクを着用ください。着用していない方の入場はお断りいたします。
- 入場時には必ず手指の消毒を行ってください。
- コロナウイルスの感染状況により、本イベントの中止又は内容を変更することがあります。

■個人情報の取り扱い

- 申込時に提供いただいた個人情報は本イベントの開催以外には使用しません。

申込方法

申込期限：令和4年11月21日(月)

先着順



二次元バーコード又は下記URLから申込ください▼
<https://www.entry-sys.net/fkic2022/user/7/input.php>

※交流会に参加いただく方は参加費2,000円が必要です。当日会場受付にてお支払いください。(現金のみ)

「総合知」で社会変革をけん引する イノベーション・エコシステム

福岡県・九州大学
イノベーション
カンファレンス
2022

同日開催

OPACK
「九州大学学術研究都市」
セミナー
in 東京2022

日時 2022年11/29(火) 9:30開場
(オンライン10:00開場)

場所 JPタワー ホール&カンファレンス
東京都千代田区丸の内2-7-2 KITTE4階

定員
先着150名
カンファレンス・
セミナー
参加無料
オンライン
同時開催
定員200名
先着

※交流会参加の方は参加費2000円が必要です。

新型コロナウイルス感染症の世界的流行以降の劇的な社会情勢の変化の中、日本経済が持続的な成長を実現していくため、大学で創造される最先端の技術やアイデアを取り込んだスタートアップ等によるイノベーションの創出が求められています。九州大学の多様な「知」と「人材」を結集した「総合知」によるイノベーションの可能性と、新たな提携を目指す最新の研究シーズをご紹介します。

福岡県・九州大学 イノベーションカンファレンス 10:20-12:20

オープニングプレゼンテーション①

「世界から選ばれる福岡県への挑戦」

福岡県知事 服部 誠太郎

オープニングプレゼンテーション②

「総合知で社会変革を牽引する大学へ」

九州大学 総長 石橋 達朗 氏

基調講演

「新しい資本主義とスタートアップ」

衆議院議員 山際 大志郎 氏

特別講演

「ディープテック：再生医療からの社会課題の解決に向けて」

株式会社ヘリオス 取締役兼代表執行役社長CEO 鍵本 忠尚 氏

「九州大学学術研究都市」セミナー 13:30-17:00

主催者あいさつ

(公財)九州大学学術研究都市推進機構 理事長 貫 正義

九州大学あいさつ

九州大学 総長 石橋 達朗 氏

九州大学学術研究都市の紹介

(公財)九州大学学術研究都市推進機構 産学連携主幹 本田 一郎

総論

九州大学 理事・副学長 プロボスト 荒殿 誠 氏

講演

「完全養殖マサバと未来の海洋性タンパク質生産に向けた取組み」

九州大学 大学院 農学研究院 准教授 太田 耕平 氏

「Science x Business x Diversity」

九州大学 大学院 経済学研究院 助教 荒木 啓充 氏

「脳の疾患への免疫からのアプローチ」

九州大学 生体防御医学研究所 准教授 伊藤 美菜子 氏

「ウェルビーイングと人的資本」

九州大学 大学院 経済学研究院 准教授 藤井 秀道 氏

「温室効果ガス排出量の算定方法論
—排出量の削減とは?—」

九州大学 グローバルイノベーションセンター 准教授 早瀬 百合子 氏

交流会

17:15-18:15

※イベントの内容は都合により変更又は中止する場合があります。予めご了承ください。

福岡県・九州大学 イノベーションカンファレンス 2022 [10:20-12:20]

◆講師紹介



「新しい資本主義と スタートアップ」

衆議院議員
山際 大志郎 氏

【職歴】

内閣府特命担当大臣(経済財政政策)
経済産業副大臣
内閣府大臣政務官
自由民主党政調会長代理
衆議院経済産業委員会筆頭理事
衆議院予算委員会理事
獣医学博士、獣医師

【学歴】

1999年3月 東京大学大学院農学生命科学研究科
獣医学博士課程 修了(獣医学博士)
1995年3月 山口大学農学部獣医学科 卒業 (獣医師)
1987年3月 神奈川県立湘南高等学校 卒業



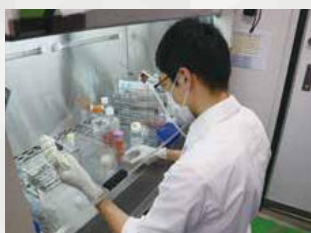
「ディープテック:再生医療からの社会課題の解決に向けて」

株式会社ヘリオス
取締役 兼 代表執行役社長CEO
鍵本 忠尚 氏

九州大学病院にて眼科医として勤務の後、2005年、1社目の大学発バイオベンチャーを起業。2011年2月、再生医療の実用化を目指し当社設立。2012年2月、当社代表に就任。2015年6月、東証マザーズ上場。難治性疾患に苦しむ患者さんへ治療と希望を届ける、という初心の実現に向け、再生・細胞医薬品という新たな産業創生に取り組む。



ヘリオス独自の自動化3D培養装置



神戸研究所での研究の様子

福岡県と九州大学との包括連携協定

福岡県と九州大学は、産業・医療・福祉・教育・研究などの様々な分野におけるイノベーションの創出を目指し、相互に連携・協力することにより、産業の振興、地域課題の解決、その他の地域社会の振興に寄与することを目的として、2022年4月に包括連携協定を締結しました。

財務や知財などの専門知識を有する高度経営人材とのマッチングにより、スタートアップ・ベンチャー企業を支援する「福岡県大学発CXOバンク」など、福岡県と九州大学の連携により生み出される研究開発や社会・経済システムのイノベーションを、新たなビジネスの創出や人材の育成、新たな投資や事業提携へと展開していきます。



九州大学オープンイノベーションプラットフォームによる社会実装の推進



九州大学は、産学官連携支援の高度化を図るため、これまで学内に点在していた産学連携支援機能を再編し、2022年4月に「九州大学オープンイノベーションプラットフォーム」を新たに設置しました。

九州大学の研究成果の社会実装や事業化に向けて、新たな市場や雇用を創出するとともに、特定の研究分野に限らず、地域社会の真の課題を探し、その解決に向けたプロジェクトの組成・事項を目指し、新たな産学官連携や企業・自治体の中長期ビジョンの策定をコーディネートしていきます。



「九州大学学術研究都市」 セミナー in 東京 2022 [13:30-17:00]

～持続可能な社会の発展と多様な幸せ(well-being)の実現を目指して～

九州大学の知的資源を活かした九州大学学術研究都市における産学官連携や企業集積を目指すOPACKは、九州大学の指定国立大学法人のエントリーポイントである「脱炭素」、「医療・健康」、「環境・食料」や新たな社会課題を解決する研究シーズを紹介し、イノベーション・エコシステムの構築につなげます。

◆講師紹介

「完全養殖マサバと 未来の海洋性タンパク質生産に向けた取組み」



九州大学 大学院 農学研究院

准教授 太田 耕平 氏

九州大学大学院生物資源環境科学府 博士課程修了。日本学術振興会特別研究員(基礎生物学部)、同海外特別研究員(ハワイ大学医学部)、愛媛大学南予水産研究センター准教授を経て、2016年～現職。九州大学アジア・オセアニア研究教育機構及び同農学研究院附属アクアバイオリソース創出センターに参加し、魚類の生殖研究と養殖技術開発を行っている。

「Science x Business x Diversity」



九州大学 大学院 経済学研究院

助教 荒木 啓充 氏

大阪大学大学院理学研究科修士課程修了。九州大学にて論文博士号(システム生命科学)取得。製薬会社、バイオベンチャー、国内外の大学で生体情報科学の研究に従事。2019年～現職。農学研究院附属昆虫科学・新産業創生研究センターに参画し、同センターで開発されたシーズの商業化推進を行っている。

「脳の疾患への免疫からのアプローチ」



九州大学 生体防御医学研究所

准教授 伊藤 美菜子 氏

九州大学医学部生命科学科卒。2016年 慶應義塾大学大学院医学研究科博士課程にて博士号(医学)取得。同大学特任助教を経て、2019年から同大学医学部講師。2020年～現職。専門は神経免疫学。脳梗塞やアルツハイマー病、自閉スペクトラム症などの神経系の疾患への免疫応答の関与について研究を行っている。

「ウェルビーイングと人的資本」



九州大学 大学院 経済学研究院

准教授 藤井 秀道 氏

福岡県出身。2009年に広島大学大学院国際協力研究科 博士課程修了(学術)。米国テキサス大学や俄富士通研究所などをを経て、2018年～現職。2022年より九州大学総長補佐(産学連携担当)。令和3年度科学技術分野の文部科学大臣表彰「若手科学者賞」を受賞。専門は日本経済論や環境経営であり、日本経済新聞や週刊エコノミストで連載。共著に『幸福の測定:ウェルビーイングを理解する』(中央経済社、2021年)がある。

「温室効果ガス排出量の算定方法論 —排出量の削減とは?—」



九州大学 グローバルイノベーションセンター

准教授 早瀬 百合子 氏

京都大学大学院エネルギー科学研究科博士課程修了。京都大学エネルギー理工学研究所、国立環境研究所を経て、2013年～現職。国連気候変動枠組条約下での排出量審査官。日本国の京都議定書温室効果ガス排出量の算定に従事し、国連気候変動枠組条約締約国会合(COP)での交渉経験を持つ。排出量算定と環境政策評価を専門とする。



公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構

〒819-0367

福岡市西区西都1丁目1-27

Tel.092-805-3677(担当:田代)

<https://www.opack.jp/>

